

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 25 年 10 月 24 日 (19:00~20:40)		
実施場所	高山コミュニティーセンター	参加人数	19 人
参加対象	高山地区振興会		
懇談内容	<p>1. 発言者 ペレットストーブは、環境に良いと思うが、実態として維持管理費、資材費が高額であり、薪ストーブに変えている人も多い。違う展開を考えたほうがいいのか。</p> <p>市長 CO2削減の観点から環境政策の一環として市も購入費の助成を行っている。燃料のペレットにキノコの廃菌床を使う取組みも進められており、環境面、コスト面からも注目している。</p> <p>2. 発言者 十日町病院の医療の充実を期待している。</p> <p>市長 十日町病院は救急患者の受入れ拒否をしないなど、市民からの評価は高い。新しい十日町病院も救急ステーションをはじめ、医療体制の整備が図られることから、更に充実することとなる。</p> <p>3. 発言者 まちづくりの施策は良いと思う。当市は財政豊富な市ではないから、緊急度の高い施策から順番をつけていくべきではないか。</p> <p>市長 各施策については、市民生活に直結したものを優先に将来性を見据えて実施している。たとえば、医療費は中学校卒業まで無料化(530円)にした。今年も高校卒業まで無料化にするなど、先進的な取組みを行っている。</p> <p>4. 発言者 ・これからの農業についてどう考えているか。</p> <p>市長 ・農業は将来性のある産業だと思っている。十日町らしさを出していきたいと思っている。中山間地域は平場とは違い、別な支援をしなければならない。特に担い手確保のための若い就農者の支援をするなど、持続した営農体制の整備が必要である。</p>		